



# 講義④男女共同参画の視点からの防災について

令和7年11月  
内閣府男女共同参画局総務課

- なぜ防災・災害対応に男女共同参画の視点が必要なのかを理解する。
- **平常時**から災害対応に関わる**すべての部局**と**連携**する体制を整える。
- 発災時は初動段階から**女性職員**や**男女共同参画担当部局**が、**災害対策本部**等において男女共同参画の視点から問題提起や情報提供を行う仕組みを作る。

# 令和6年能登半島地震における男女共同参画局の取組

1月1日	被災自治体に対し、「女性の視点からの防災・復興ガイドライン」に基づく取組を進めるよう要請
1月5日	男女共同参画局職員を現地災害対策本部に派遣(～3月29日、計12名) <ul style="list-style-type: none"><li>・避難所に支援に入る国、県・市町、自衛隊、警察、民間団体に女性の視点からの「避難所チェックシート」の周知・活用を依頼</li><li>・石川県と連携し、女性の視点に立った1.5次避難所開設・運営への支援</li><li>・防犯ブザーをプッシュ型支援として4,200個市町に配布するなど避難所における性暴力・DV被害防止のための取組を実施</li></ul>
1月17日	各都道府県に対し、石川県作成の性暴力・DV防止啓発ポスターや、避難所チェックシートの活用を応援職員等に周知するよう依頼
1月29日	各都道府県に対し、広域避難先においても被災者が性暴力・DVに関して相談できるよう配慮するとともに、相談窓口の周知を依頼
～3月末	石川県に対し、「応急仮設住宅・復興住宅チェックシート」について、市町への周知・活用の依頼
2025年 5月	男女共同参画の視点に立った能登半島地震対応状況調査報告書の公表

# 女性の視点からの避難所チェックシート



便利帳

## 避難所チェックシート

確認日：\_\_\_\_\_ 確認者：\_\_\_\_\_

### ① 避難所のスペース

プライバシー	<input type="checkbox"/> 授乳室（椅子、授乳用の枕やクッション、おむつ替えスペース）がある <input type="checkbox"/> 男女別更衣室、男女別休養スペースがある <input type="checkbox"/> 男女別更衣室、男女別休養スペースが離れた場所にある <input type="checkbox"/> 間仕切り・パーティションがあり、その高さや大きさなどが、プライバシーの保護の観点から、十分である
要配慮者	<input type="checkbox"/> 適切な通路が確保され、段差が解消されている <input type="checkbox"/> 乳幼児のいる家庭用エリアがある <input type="checkbox"/> 介護・介助が必要な人のためのエリアがある <input type="checkbox"/> 単身女性や女性のための世帯用エリアがある <input type="checkbox"/> 女性専用スペース（女性用品の配置・女性相談）がある <input type="checkbox"/> キッズスペース（子供たちの遊び場・勉強・情報提供）や保育エリアがある <input type="checkbox"/> 足腰が悪い人のための寝具（段ボールベッド等）が提供されている
トイレ	<input type="checkbox"/> 安全で行きやすい場所に設置されている <input type="checkbox"/> 女性トイレと男性トイレは離れた場所にある <input type="checkbox"/> 女性トイレ：女性用品・防犯ブザーの配置、仮設トイレは女性用を多め <input type="checkbox"/> 男性トイレ：尿取リパット等の設置 <input type="checkbox"/> 多目的トイレが設置されている <input type="checkbox"/> 洋式トイレが設置されている <input type="checkbox"/> 屋外トイレは暗がりにならない場所に設置されている <input type="checkbox"/> トイレの個室内、トイレまでの経路に夜間照明が設置されている <input type="checkbox"/> トイレに鏡がある
入浴施設	<input type="checkbox"/> 安全で可能な限りバリアフリーに対応した入浴施設がある <input type="checkbox"/> 男女問わず一人で（又は付き添いを受けながら）入浴できる施設がある
安全	<input type="checkbox"/> 避難所の危険箇所や死角となる場所の把握・立入制限がされている <input type="checkbox"/> 間仕切り・パーティションが高い場合は個室の定期確認がされている
その他	<input type="checkbox"/> 各部屋に部屋札（ピクトグラム、やさしい日本語）が設置されている <input type="checkbox"/> 掲示板による情報提供（インターネットが使用できない人・情報が届きにくい人向け）がされている

第1部

第2部

第3部

## ② 避難所の運営体制・運営ルール

運営体制	<input type="checkbox"/> 管理責任者には男女両方を配置している <input type="checkbox"/> 自治的な運営組織の役員に女性が3割以上参画している <input type="checkbox"/> 運営組織に、多様な立場の代表が参画している ・介護・介助が必要な人      ・PTA ・障害者                              ・中学生・高校生 ・乳幼児がいる家庭の人      ・外国人（居住者が多い場合）
運営ルール	<input type="checkbox"/> 避難者による食事作り・片付け、清掃等の負担が、特定の性別や立場の人に偏っていない（男女を問わずできる人で分担） <input type="checkbox"/> 女性用品（生理用品、下着等）は女性担当者が配布を行っている
ニーズ把握	<input type="checkbox"/> 避難者から要望や困りごとを受けられる仕組み体制がある（トイレ等への意見箱の設置） <input type="checkbox"/> 女性や子育て・介護中の家庭の要望や困りごとを積極的に聞き取り、運営に反映させている <input type="checkbox"/> 避難者名簿を作成し情報管理が徹底されている （氏名、年齢、性別、健康状態、保育や介護を要する状況、避難場所、在宅・車中泊、外部からの問い合わせに対する情報の開示／非開示の可否） <input type="checkbox"/> 相談体制の整備、専門職と連携したメンタルケア・健康相談が実施されている

## ③ 暴力防止・安全の確保

<input type="checkbox"/> 配偶者からの暴力の被害者等の避難者名簿の作成と情報管理が徹底されている <input type="checkbox"/> 男女一緒に行動する体制がある <input type="checkbox"/> 就寝場所や女性専用スペース等へ巡回警備が行われている <input type="checkbox"/> 避難所の校庭など、敷地内に車中泊がある場合は、車中泊エリアの巡回警備が行われている <input type="checkbox"/> 暴力を許さない環境づくりが整備されている （啓発ポスターの掲示、相談カードの設置、照明の増設、女性や子供は2人以上で行動する、移動する際はまわりの人に声を掛け合う） <input type="checkbox"/> 防犯ブザーやホイッスルが配布されている <input type="checkbox"/> 不安や悩み、女性に対する暴力等に対する相談窓口、男性相談窓口が周知されている
---

## ④ 衛生環境・感染症予防

<input type="checkbox"/> 感染症予防（手洗い・消毒・マスク）対策がされている <input type="checkbox"/> トイレの使用方法・汚物の処理などの衛生対策が行われている <input type="checkbox"/> トイレ専用の履物（スリッパ等）が使用されている <input type="checkbox"/> ゴミの収集や分別が徹底されている <input type="checkbox"/> 炊き出しを行う際は、調理の手順の表示や食品の管理、主要なアレルギーの有無の表示、残食の廃棄が徹底されている <input type="checkbox"/> 育児用ミルク（粉ミルク／液体ミルク）を配布する際は、授乳アセスメントシートに基づき説明した後に配布している
--

## ⑤ 在宅避難者を含む指定避難所以外の避難者への支援

<input type="checkbox"/> 在宅避難者を含む指定避難所以外の避難者情報も登録されている（特に要配慮者の把握のため） <input type="checkbox"/> 在宅避難者を含む指定避難所以外の避難者への食料・物資配布の時間や場所がある <input type="checkbox"/> 在宅避難者を含む指定避難所以外の避難者への支援情報等を伝達する体制が整っている <input type="checkbox"/> 在宅避難者を含む指定避難所以外の避難者のニーズを把握する体制がある
--

男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン p.57-58

[https://www.gender.go.jp/policy/saigai/fukukou/pdf/guidelene\\_07.pdf](https://www.gender.go.jp/policy/saigai/fukukou/pdf/guidelene_07.pdf)

# 能登半島地震における女性の声

多くの避難所において女性の視点が欠如していた



県外の公務員の応援チームが派遣されてきたが**全員男性**。  
(派遣の必要性を聞かれて)  
避難所運営を行った男性が「女性(の職員)は特にいない」と答えてしまった。



**物資担当者は男性ばかり**。  
下着を選んでいるときに男性が見ている状態。



更衣室は用意されず、**着替えるところがない**。  
**プライバシーが守られない**



避難所内での男性による**つきまとい**があった。  
警察ができたのは、防犯ブザーを渡すくらい。



**炊き出しに一日7時間**。  
睡眠が2, 3時間しかない日が続いた

# これまでの災害で見えてきた課題

平常時にできないことは、災害時にはなおさらできない・・・

## 平常時の防災・復興施策に 男女共同参画の視点が入り入れられていない

- ✓ 防災における男女共同参画の視点の重要性について理解されていない
- ✓ 自治体の災害対策本部や防災部局に女性職員が配置されていない
- ✓ 防災部局と男女共同参画部局が連携していない

等



## 災害時に女性の困難・負担が増大

# 災害対応力を強化する女性の視点

## ～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～（令和2年5月）



都道府県・市町村の防災・危機管理担当部局、男女共同参画担当部局が、女性の視点からの 災害対応を進める際に参照できるよう、基本的な考え方、**平常時の備え**、初動段階、避難生活、復旧・復興の各段階において取り組むべき事項を示すもの。

[https://www.gender.go.jp/policy/saigai/fukkou/pdf/guidelene\\_01.pdf](https://www.gender.go.jp/policy/saigai/fukkou/pdf/guidelene_01.pdf)



### 第1部 7つの基本方針

1. 平常時からの男女共同参画の推進が防災・復興の基盤となる
2. 女性は防災・復興の「主体的な担い手」である
3. 災害から受ける影響やニーズの男女の違いに配慮する
4. 男女の人権を尊重して安全・安心を確保する
5. 女性の視点を入れて必要な民間との連携・協働体制を構築する
6. 男女共同参画担当部局・男女共同参画センターの役割を位置付ける
7. 要配慮者への対応においても女性のニーズに配慮する

# 地域防災計画や避難所運営マニュアルにガイドラインの内容を反映する

## 「地域防災計画の作成・修正」の取組ポイント

取組主体：☒ 都道府県 ☒ 市町村 ☐ 男女共同参画センター ☐ 市民団体

- ☐ 本ガイドラインに盛り込まれた事項を反映するよう努める。
- ☐ 地域防災計画に男女共同参画部局や男女共同参画センターの役割を位置づける。

## 「避難所運営マニュアルの作成・改定」の取組ポイント

取組主体：☒ 都道府県 ☒ 市町村 ☐ 男女共同参画センター ☐ 市民団体

- ☐ マニュアルは検討の初期から女性が参画する。

ガイド  
P. 14

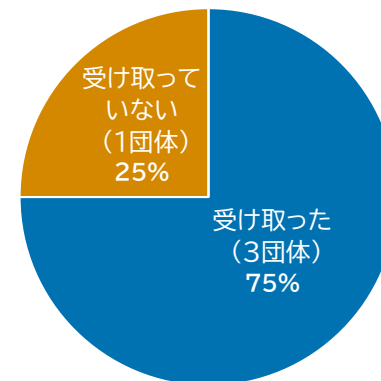
「令和6年度 男女共同参画の視点からの能登半島地震対応状況調査」より

内閣府男女共同参画局が県・市町村の男女共同参画担当部署へ発出した「通知」への対応状況

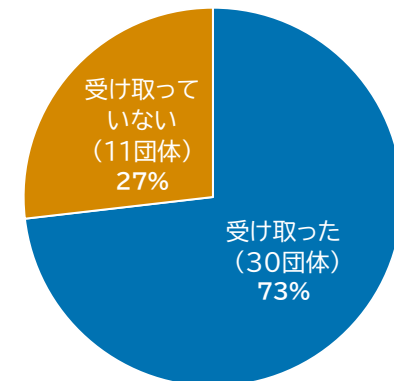
（「通知」では、男女共同参画の視点からのガイドライン及び避難所チェックシートの活用を依頼）

通知を受け取りましたか

県 N=4



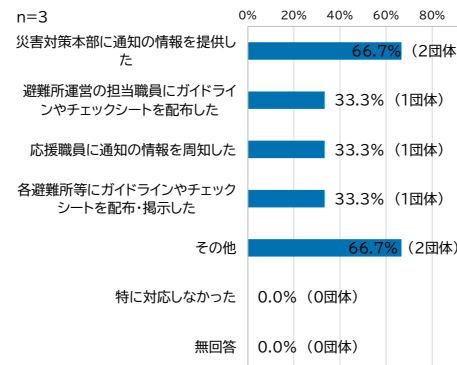
市町 N=41



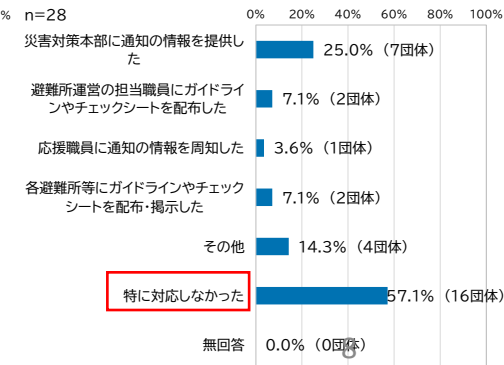
ガイド  
P. 15

通知を受け取ったと認識し、どのように対応しましたか（複数回答）

県 n=3



市町 n=28



# 防災部局と連携し、男女のニーズの違いを踏まえた備蓄をする

## 「物資の備蓄・調達・配布」の取組ポイント

ガイド  
P. 17

取組主体：☒ 都道府県 ☒ 市町村 ☒ 男女共同参画センター ☐ 市民団体

☐ ガイドラインの「**備蓄チェックシート**」を活用し、**女性職員の参画**を得ながら、**女性と男性のニーズの違い等**を踏まえて品目を選定し、**必要かつ十分な物資を備蓄**する。

☐ 輸送・流通等の関係団体や企業と**必要な協定を締結**する。

☐ 女性用品や乳幼児用品、衛生用品等について**住民の備蓄**を促す。

内閣府男女共同参画局「災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン」(令和2年5月)p.56

便利帳

### 備蓄チェックシート

- ▶ 備蓄の品目や数量について、女性と男性のニーズの違い、妊娠婦や子育て家庭のニーズに配慮することが必要です。品目や数量については、当事者である女性が参画して、検討してください。
- ▶ 個人によってニーズは異なりますが、一人あたり最低3日間の量を備蓄することが望めます。住民に対しても、平常時から備えを促しましょう。

女性用品 ※	<input type="checkbox"/> 生理用ナプキン（普通、長時間向け等） <input type="checkbox"/> おりものシート <input type="checkbox"/> サニタリーショーツ <input type="checkbox"/> 防犯ブザー／ホイッスル <input type="checkbox"/> 中身が見えないゴミ袋 <input type="checkbox"/> 女性用下着（各種サイズ）
若者（女性）	<input type="checkbox"/> 女児用下着（発達段階ごとに適したサイズ、形態のもの） <input type="checkbox"/> 防犯ブザー／ホイッスル
妊娠婦	<input type="checkbox"/> 妊娠婦用下着 <input type="checkbox"/> 妊娠婦用衣類 <input type="checkbox"/> 防犯ブザー／ホイッスル <input type="checkbox"/> 母乳パッド
乳幼児用品	<input type="checkbox"/> 粉ミルク（アレルギー用含む）又は液体ミルク <input type="checkbox"/> 枕やクッション（授乳室ごとに数個）、授乳用ケープ・バスタオル等（ストールでも可） <input type="checkbox"/> 乳幼児用飲料水（飲水） <input type="checkbox"/> 哺乳瓶・人工乳首（ニップル）・コップ（コップ授乳用に使い捨て紙コップも可）・消毒剤・洗剤・洗浄ブラシ等の器具、割りばし <input type="checkbox"/> 湯沸かし器具・煮沸用なべ（食用と別にする） <input type="checkbox"/> 離乳食（アレルギー対応食を含む） <input type="checkbox"/> 皿・スプーン <input type="checkbox"/> 乳幼児用紙おむつ（各種サイズ、女児用、男児用）、おむつ用ビニール袋 <input type="checkbox"/> おしりふき
介護用品	<input type="checkbox"/> 大人用紙おむつ（各種サイズ、女性用、男性用）、おむつ用ビニール袋 <input type="checkbox"/> 尿取りパッド（女性用、男性用） <input type="checkbox"/> おしりふき <input type="checkbox"/> 介護食（おかゆ、とろみ食、とろみ剤） <input type="checkbox"/> 簡易トイレ・据置式洋式トイレ <input type="checkbox"/> 防犯ブザー／ナースコール <input type="checkbox"/> 義歯洗浄剤
外国人（女性）	<input type="checkbox"/> スプーン・フォーク <input type="checkbox"/> ストール <input type="checkbox"/> 宗教上の理由に関わらず食べられる食べ物
共通	<input type="checkbox"/> プライバシーが十分に保護される間仕切り・パーティション <input type="checkbox"/> 足腰が弱い人のための寝具（段ボールベッド等）

56

※避難所では物干し場がなかったり、断水により洗濯できない可能性もあるため、使い捨て下着やおりものシートがあると衛生を保つために便利です

# 災害対応の初動から女性の視点を反映する

## 「災害対策本部」の取組ポイント

ガイド  
P. 29

取組主体：☒ 都道府県 ☒ 市町村 ☒ 男女共同参画センター ☐ 市民団体

- ☐ 災害対策本部の構成員に、**女性職員を配置**する。
- ☐ **男女共同参画担当部局を所管する構成員**は、ガイドラインに盛り込まれている事項への対応について、**本部に情報提供・問題提起**する。
- ☐ 災害対策本部の**下部組織**には、必ず、**男女共同参画担当部局や男女共同参画センターの職員を配置**する。

「令和6年度 男女共同参画の視点からの能登半島地震対応状況調査」より

### 石川県珠洲市の取組事例

- 市長の承認のもと、1月2日に災害対策本部の下部組織として、**健康福祉増進センター所長(女性)**を本部長に「**保健医療福祉調整本部**」を立ち上げ。
- 調整本部に入った**医療・保健等の専門職には女性が多く**、避難所の女性用物資やトイレの衛生管理、防犯ブザーのニーズにも対応。
- 本部長は**市の災害対策本部の構成員**であり、本部会議の場で「調整本部」が対応した事例について共有。**女性用品等の必要物資**についても積極的に発言。



# 避難所の開設時から女性の視点を取り入れる

## 「避難所の開設・運営」の取組ポイント

取組主体：☐ 都道府県 ☒ 市町村 ☐ 男女共同参画センター ☒ 市民団体

ガイド  
P. 34

- ☐ 管理責任者に、**女性と男性の両方を配置**する。
- ☐ 「**避難所チェックシート**」を活用し、巡回指導を行う。



間仕切り&段ボールベッドの例

## 「避難所の環境整備」の取組ポイント

取組主体：☐ 都道府県 ☒ 市町村 ☐ 男女共同参画センター ☒ 市民団体

ガイド  
P. 35

- ☐ プライバシーの十分に確保された**間仕切り**により、**世帯ごとのエリア**を設ける。
- ☐ トイレ・物干し場・更衣室・休養スペース・入浴設備は、**男女別**に設ける。**授乳室**を設ける。
- ☐ **女性用品の配布場所**を設ける。



女性専用物干し場



更衣室・授乳室  
(ドーム型)

# 石川県と民間支援団体の連携による取組事例

## 1. 5次避難所における取組

- 避難所開設後、早期に**女性専用スペース**(女性用談話室)を設置し、24時間利用可能にした。
- こどもが動き回れるように**キッズスペース**(未就学児向けと小学生以上向け)を2か所設置。未就学児向けには**授乳用とおむつ替え用のテント**を準備。小学生向けには**走り回ったり、勉強や読書用の場所**も設置。
- 様々な発達段階**に対応できるよう**多職種が連携**し、常駐の専任スタッフとボランティアによって運営。保育士と学童保育指導員が常駐し、**こどもと保護者双方を支援**。
- 保護者が2次避難先の情報を得られるよう、各地の**子育てハンドブック等を集めて情報提供**を実施。



## 2次避難所における取組

- 県の研修センターに妊産婦と家族のための2次避難所を設置し、**助産師会と連携**して運営。日中は助産師が常駐、妊婦の心身のケア(健康管理、相談対応)を実施。
- きょうだい児向けに**民間支援団体と連携してプレイルーム**の設置。
- 避難者が地元の市町に戻る際には、県から各市町の**母子保健担当部署に連絡し、状況の引き継ぎ**を実施。

# 石川県男女共同参画担当部署の取組事例

## 国や応援自治体と連携し、市町に対し性暴力・DV防止のための取組を支援

- 1月1日に発出された**内閣府男女共同参画局からの通知**を受け取り、同日、**他課や市町に共有**。
- 性暴力・DV防止のための啓発ポスター**を作成し、市町村や避難所運営担当者にポスターの掲示や相談カードの掲示・配布を依頼。
- 内閣府男女局の派遣職員による助言を踏まえ、避難所を開設している市町の男女共同参画担当部署を対象に**女性のニーズの把握状況等に関する聞き取り調査**を実施。
- 対口支援に入った**応援自治体からの要望**に応じて調達し、**防犯ブザー**を調達、市町に配布を依頼。

避難所では、**性被害・性暴力**  
DVなどが起こりやすいです

みんなが安心して過ごせる避難所に  
みんなで作る みんなでまもる

- 夜間や人気のない場所では、一人での行動は避けます
- まわりの皆さんの目と支えがたよりです
- 被害をうけたら相談してください
- ストレスをためず不安な気持ちも声に出しましょう

【過去の災害のときも起きたことです！】

- ・着替えやトイレをのぞかれる・盗撮される
- ・夜になると他人が毛布に入ってくる・添い寝を強要される
- ・同じ避難所にいる人から、わいせつな行為やキスをされる

プライベートゾーンは水着でかくれる  
からだの大切なところだよ

見ない、見られない  
触らない、触られない  
握らない、握られない

**相談窓口** ※相談は無料です。秘密は守ります。男性からの相談も受け付けています。

性暴力・性犯罪	パープルサポートいしかわ	#8891
	警察 性被害110番	#8103
DV (配偶者からの暴力)	石川県 配偶者暴力相談支援センター	#8008
	警察相談専用電話	#9110
女性の様々なお悩み	石川県女性相談支援センター	076-208-3304

受付時間など詳しくはこちら

石川県

石川県作成ポスター

- サンフォールテフェスティバル 2024**

# 能登半島地震 復興応援ショップ<sup>®</sup>



店名	店内特	開催日	
		22日 (土)	23日 (月)
珠の海産物 関山 (輪島市・親泊)	地元特産品 調味料、衣作り、巻きわび、アガノコに漁船し、い が煮て、いが揚げ干し、会りの味噌、夜替茶、ちくすく等	○	○
お膳子工房 Hanae (石川町)	「がんばろう能楽」ハート型ツッキー など	○	○
丘の上の一軒家カフェ Via Bell(ビオベル) (丸亀町)	自家焙煎ハンドロブスターコーヒー、 手取りケーキ、タッパ、水車ジュエリー	※当日、ふゆみ いのちをたよる	○
幸楽園 (北沢町)	鮎川寿司	○	○
Bakery H&M(福島の) 餅屋焼店 (能登町)	餅類カステラなど和菓子の 総店ワンダースキャンディ	○	○
Shanti(奥津佐・門前)	手作りカステラー	○	○
源生丸製茶業組合 (七尾町)	もち、きなこもち、おはぎ、お茶會 たぐひ、つけもの等	○	△
津崎菓子店 有限会社津崎かまぼこ店 津波原ローパー (水戸町)	和菓子・かまぼこ・すし等 がほかにけりこ餅、青魚・伊豆巻、まねの串 には炭火ロウの看板がしる	○	○
あやせみじゅう本舗 竹内 (七尾町)	あやまんじゅう	○	○
新島書店 Ante (四国町)	長蛇型ポスター、しおタイダー、奥能登しおタイ アップス他	○	○

※販売内容は変更される可能性があります。会場、協賛する業者も変わります。

**日時:** 6月 22 日(土)、23 日(日)

**時間:** 11:00~14:00 (受付開始は、開場より)

**会場:** サンフォールテ2階交流サロン



主催：サンフォールテフェスティバル実行委員会  
協力：内田洋行・E&S・トキマツ

# これからの取組

---

- 災害対応を担う地方公共団体の全ての部局職員に対し、「男女共同参画の視点からの防災」に係る**研修・訓練**の実施
- 令和7年度 **女性防災リーダーのネットワーク構築**に向けた調査事業

平常時にできないことは、災害時にはなおさらできません。

## 平常時・災害時の あらゆる防災施策に男女共同参画の視点を入れる

- ✓ 災害対応に関わるあらゆる部局が連携してガイドラインを踏まえた研修や訓練を行う
- ✓ 自治体の災害対策本部等の意思決定や災害の現場に女性が参画する
- ✓ 防災担当部局と連携し、災害時の男女共同参画部局や男女共同参画センターの役割を明確化する



被害全体が縮小する、災害に強い社会が作られる!

# 「災害対応力を強化する女性の視点」 実践的学習プログラム（令和3年5月）



印刷・投影用スライド教材のほか、  
YouTube動画

（[https://youtube.com/playlist?list=PLwXND8\\_Qn55qWD5nkHjuNP9J03b2E3JrV](https://youtube.com/playlist?list=PLwXND8_Qn55qWD5nkHjuNP9J03b2E3JrV)）もあり、  
研修や勉強会、防災・男女共同参画関連のイベント等、様々な機会に活用できます！



プログラム構成		タイトル
セッション1 (約30分)	座学 (動画あり)	防災になぜ男女共同参画の視点が必要か
セッション2 (約50分)	座学 (動画あり)	災害対応力を強化する女性の視点
セッション3 (約75分)	ワーク ショップ	男女共同参画の視点から防災の取組を 実践する
+ 自治体・男女共同参画センター・市民団体の取組事例集あり		

ダウンロードはこちら

<https://www.gender.go.jp/policy/saigai/program/>

## 19「避難所の開設・運営」の取組ポイント

ガイド  
P.34

取組主体：☐ 都道府県 ☒ 市町村 ☐ 男女共同参画センター ☒ 市民団体

- ☐ 管理責任者に、**女性と男性の両方を配置**する。
- ☐ 避難者の自治的な運営組織に、**女性の参画を促す**。
- ☐ 「**避難所チェックシート**」を活用し、巡回指導を行う。
- ☐ 避難所の生活ルール作りを行う際には**女性の意見を反映**する。
- ☐ リーダー、食事作りや片付けなど、特定の活動が特定の性別に偏るなど、**役割を固定化しない**よう配慮する。
- ☐ 避難者名簿に個人情報の開示・非開示についての本人確認の欄を設け、**個人情報の管理を徹底**する。

19

## ガイドライン「避難所チェックシート」の活用

ガイド  
第3部

第3部の「便利帳」には、平常時・災害時に活用できる情報が掲載されています

「避難所チェックシート」を使って、運営管理や避難者へのヒアリングを実施し、生活改善を促進しましょう！



22

<平成28年熊本地震>

## 好事例 熊本市男女共同参画センターはあもにい

ガイド  
P.43

全国の男女共同参画センターからの情報をもとに、  
地震発生直後から**避難所キャラバンを開始**

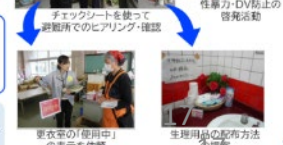
### 【避難所キャラバンの活動】

- ・ 避難所チェックシートを使った避難所環境の改善活動
- ・ 性暴力・DV防止啓発活動
- など



### 【効果】

更衣室や授乳スペースなどプライバシーに配慮した環境改善が進んだ。  
女性用品の配布方法も見直された。



被災後すぐに全国女性会館協議会の「相互支援システム」を利用して、全国の男女共同参画センターとつながった

更衣室の「待合中」の表示を改善  
生活用品の配布方法の表示を改善

25

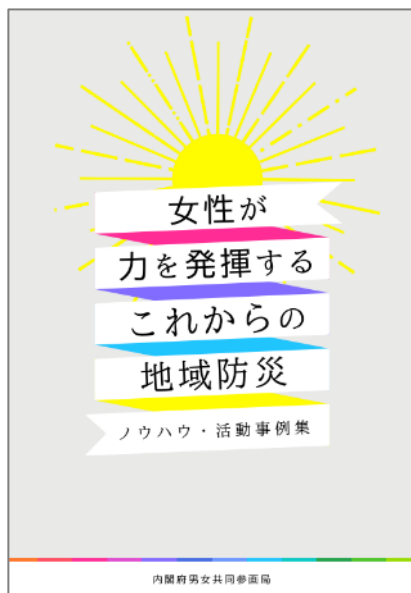
# 女性が力を発揮するこれからの地域防災

## ～ノウハウ・活動事例集～ (令和4年3月)



地域で女性が防災活動するにあたっての課題、地方公共団体及び自治会・自主防災組織等の先進的な取組について調査・分析をもとに作成した、女性の防災リーダーが地域で活躍するためのノウハウ・事例集。

<https://www.gender.go.jp/policy/saigai/knowhow/>



女性が  
力を発揮  
するための  
ノウハウ

活動をはじめる女性の  
一歩を後押しする

### Q7 防災活動をしたいと思う女性に対して、行政は何かから始めるとよいですか？

#### A1 同じ目的を持つ人や組織をつなげる機会をつくりましょう



一人の人が「やりたい」と思っている活動を、他の人も「やりたい」と思っているかもしれません。一緒に活動したり、困ったときに相談できる仲間がいると、活動の実行力が高まります。

##### 活動ノウハウ

- ✓ 女性が気軽に参加できる研修やセミナーなどを開催する [p.24 ①①](#)
- ✓ 研修の修了生が参加できるメッセージグループやメーリングリストを作成し、研修終了後もお互いにつながり、情報交換できるようにする [p.33 ②②](#)
- ✓ 受援者仲間、防災士仲間、子育て仲間、民生委員仲間など、同じ目的を持つ人たちで新たにグループを結成できるよう支援する [p.33 ③③](#)
- ✓ 活動報告会などのイベントを開催し、研修の受講生と修了生が交流する機会をつくる [p.33 ④④](#)

#### A2 地域とマッチングしましょう



一人ひとりの希望に沿った活動を選択できるように、女性と自主防災組織などをマッチングしましょう。

##### 活動ノウハウ

- ✓ 研修終了後に活動したい内容を面談などで把握し、活動できる組織を紹介するなど、行政が活動したい女性と受け入れ側の地域組織をつなぐ [p.25 ①②](#)
- ✓ 自主防災組織ですでに活動している女性と、これから活動する女性と一緒に受講できる研修を実施するなど、異なる立場の女性同士が交流する場をつくる [p.26 ②③④](#)

地域の防災で女性が力を発揮するということは、

- 防災活動の担い手が増え、子供や若者、高齢者や障害者等の多様な視点が活動に反映されます
- 防災を自分事として考え、一人ひとりが災害に備え行動するようになります
- 性別で役割分担せず、男女が共に防災に取り組むことで、地域組織の負担が減ります
- 地域組織の運営が柔軟になり、それぞれの生活に合わせて防災活動が続けられるようになります
- 男性が女性の防災活動を知る機会が増え、お互いの理解が深まり、地域の共助力が高まります
- 必要な情報が幅広い世代に伝わるようになります
- 学校等との連携が強化され、将来の防災人材の育成につながります

女性がさらに力を発揮できれば  
災害に強い地域をつくることができます

さあ、できることから始めましょう

# 防災分野における女性の参画促進 ～好事例集～（令和5年5月）



地方防災会議委員に占める女性委員比率の向上、防災・危機管理部局への女性職員の配置等、防災分野での女性の参画拡大に積極的に取り組む17自治体を紹介 <https://www.gender.go.jp/policy/saigai/suishin/index.html>

## 本事例集で紹介している自治体

山形県酒田市  
山形県高島町  
茨城県  
群馬県渋川市  
東京都  
岐阜県  
静岡県浜松市  
愛知県豊橋市  
大阪府堺市  
大阪府茨木市  
兵庫県明石市  
鳥取県  
香川県坂出市  
高知県高知市  
福岡県桂川町  
長崎県  
沖縄県那覇市

**事例8 愛知県豊橋市**

**女性職員の提案により、災害対応にあたる職員の子どもの一時預かり場所の設置を実現！**

**取組概要**

- 「防災に女性の参加と目標を取り入れる検討会」の実施結果を踏まえ、災害時に職員の子どもの一時預かり場所の設置を検討
- 訓練を実施して改善点を見つけることで、実効性のある制度に向けて更に検討を重ねている

**取組のきっかけ 『災害時に女性が参画しやすい環境をつくりたい！』**

当時、平成28年熊本地震の被災地に派遣された職員が、被災地で多くの女性職員が被災直後に託児所等がなく、育児・介護などを理由に参加できず、その後、長期間労働ができないことを苦に退職した、という実態を目の当たりにした。

豊橋市で災害が発生した場合にも、職員が不足するかもしれない……

**災害対応に女性も参画しやすい環境づくりを検討するため、「防災に女性の参加と目標を取り入れる検討会」を発足。**

災害時に、女性職員もすぐに職場に来られ、安心して働ける環境を目指そう！

愛知県 電話：0532-51-3116  
豊橋市 防災危機管理課 <https://www.city.toyohashi.lg.jp/5272.htm>

豊橋市HP

19

**事例8 愛知県豊橋市**

**2 平常時の資源を活用し、災害対応にあたる職員用の託児所を設置！**

**子ども一時預かり場所の設置**

- 災害時に職員が安心して災害対応に取り組めるようにするため、検討会から子ども一時預かり場所の運用を検討するよう要望した
- 本庁内の職員を対象として、庁内に託児所を設ける運用とした
- 育児休業中の職員が来庁した際に利用できるように、庁内の職員向け休憩スペースに畳やマットを敷いて託児スペースをつくった
- 災害時にもこのスペースを活用することにした

予算や人員などの具体的な検討がなかった！

畳やマットを敷いて託児スペースに！

本庁舎の職員向け設備として人員確保などを行い、まずはやってみることができた！

最前線の預かりや庁内先結集の場など、引き続き検討！

日ごろから使われている休憩スペースを災害時にも有効活用することで費用を抑えられた！

訓練後の振り返りを通じて、「（外部団体の方が防災車両に）かけつけられない可能性も踏まえ」市の保育士の職員等も託児に加わっていたらダメではないかなどと、今後の取組に向けた課題を明らかにできた！

21

**事例11 兵庫県明石市**

**防災会議内に専門委員会を設置し、ジェンダーと多様性の視点を考慮した計画に改定！**

**取組概要**

- ジェンダー平等プロジェクトチームがテーマの1つとして「防災」を検討し、「ジェンダーと防災に係る専門委員」の設置を提案
- 実際に防災会議内に専門委員会を設置し、性別や障害の有無にかかわらず多様な人達を委員に任命

**取組のきっかけ 『防災分野において多様な視点で議論したい！』**

庁内横断的にジェンダー視点を取り入れた施策について検討する「ジェンダー平等プロジェクトチーム」が立ち上がり、主要テーマの1つに「防災」が位置づけられた。

阪神・淡路大震災の被害を経験して、災害の脅威を認識してきたが、これまで防災の分野においてジェンダー視点を議論を行ってこず、防災会議の委員も女性の割合が少なかった……

多様な視点を踏まえた災害対策を議論するため、市に対して防災会議内に「ジェンダーと防災に係る専門委員会」を設置することを提案。

多様なメンバーから意見を出してもらい、出された意見は全て丁寧に取り扱うことを目指そう！

兵庫県 電話：078-918-5069  
明石市 総合安全対策室 <https://www.city.akashi.lg.jp/saigai/>

明石市HP

27

**事例11 兵庫県明石市**

**1 地域の関係者や障害者、高校生など、多様な方々が専門委員として参画！**

**ジェンダーと防災に係る専門委員会**

- ジェンダー平等推進室と総合安全対策室が相談しながら、委員には有識者、市内で防災教育や避難所運営に関わる小学校校長、保健師、まちづくり協議会の会長、防災甲子園などに取り組む団体を選出した
- 過去の災害の経験を踏まえ、委員候補者と性別・年齢・障害の有無等の多様な観点から災害対策を考えることの重要性を共有した
- 当事者（障害者）に関するテーマを検討した際は、臨時委員として障害者にも参画を依頼した

ジェンダーバランスを図るとともに、多様な人達が委員に参画することで、障害者等の参画促進者の防災対策も含めて幅広く話し合えた！

全ての委員が意見を出した！

職員の当事者の声を学ぶ機会にも！

**会議の進め方**

- 全4回の会議形式による会議に加え、模造紙と付録を用いたワークショップを実施した
- 全ての意見を書き留め、出た意見をすぐに取りまとめ議決と「中長期的に取り組む課題」に整理した

ワークショップなどで若者から意見が多く出ること、他の参加者も意見を出そうという空気に、活発に議論ができた！

1つの意見もつまずかず、全ての意見を大切にできた！

28

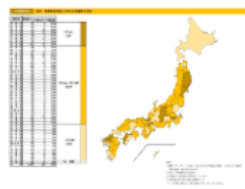
# ガイドラインに基づく地方公共団体の取組状況調査 「見える化マップ」(令和6年6月)



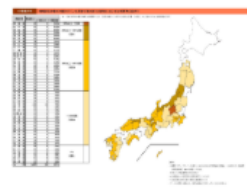
令和3年から毎年実施している「男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン」に基づく地方公共団体の取組状況調査について、最新の調査結果では、各団体の取組状況が一目でわかるよう「見える化マップ」を作成。

## ガイドラインに基づく地方公共団体の取組状況調査

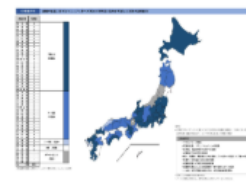
調査年	調査の情報 (調査対象・調査期間など)	全体概要	都道府県データ	市区町村別データ (政令指定都市を含む)
令和6年 (2024)	<a href="#">こちら</a>	[PDF形式:1.0MB]	調査結果[PDF形式:490KB] 見える化マップ[PDF形式:1.9MB]	<a href="#">調査結果・見える化マップ</a>
令和5年 (2023)	<a href="#">こちら</a>	[PDF形式:1.0MB]	調査結果[PDF形式:490KB] 見える化マップ[PDF形式:2.3MB]	<a href="#">調査結果・見える化マップ</a>
令和4年 (2022)	<a href="#">こちら</a>	[PDF形式:1.0MB]	調査結果[PDF形式:477KB]	<a href="#">調査結果</a>
令和3年 (2021)	<a href="#">こちら</a>	[PDF形式:1.1MB]	調査結果[PDF形式:431KB] (※政令市を含む)	<a href="#">調査結果</a> (※政令市を含まず)



①都道府県の防災・危機管理部局における女性職員の割合 (令和6年)



②都道府県の地域防災計画で計画されている災害対策本部の本部員における女性職員の割合 (令和6年)



③都道府県の避難所運営に関するマニュアル等への記載状況 (令和6年)



④都道府県の避難所運営に関するマニュアル等への男女共同参画の視点を考慮した設備の設置の記載状況 (令和6年)



## 【調査の背景・目的】

- 令和6年能登半島地震で被災した自治体や支援団体の備えや防災時の対応、復旧・復興の取組など、「男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン」に基づく災害対応状況を把握。
- 調査結果をもとに課題と好事例を整理し、今後の改善に向けた取組の方向をとりまとめ。

## 【調査方法】

- ①被災自治体(4県、47市町村)、②応援自治体(対口支援を行った都道府県及び政令市を含む市町村)、③男女共同参画センター(357センター)、④民間支援団体(NPO、企業、社会福祉協議会等約200団体)に対しアンケート・ヒアリング調査を実施。
- 本分野に精通した有識者、地方公共団体職員から構成される検討会を設置。検討会において、アンケート・ヒアリング調査票の内容、ヒアリング調査先の選定、報告書案についての意見交換等を実施。

### 検討会委員

※五十音順、敬称略、◎は座長

氏名	所属・役職
◎池田 恵子	静岡大学教授
池田 哲也	熊本市文化市民局市民生活部長
小山内 世喜子	一般社団法人男女共同参画地域みらいねっと 代表理事
斉藤 容子	関西国際大学客員教授
明城 徹也	全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD) 事務局長

### オブザーバー

部局名
内閣府防災(避難生活担当)
内閣府防災(普及・啓発担当)
総務省自治行政局公務員部 公務員課応援派遣室

## 【調査結果概要(取組事例・課題、今後の方向性)】

- 今回の災害対応では、対口支援の枠組みを活用した**応援自治体による支援**や1. 5次・2次避難所等の**広域避難**が早期に実施された。
- 被災自治体と民間支援団体・専門家・女性防災リーダー**などの**多様な主体間の連携**による男女共同参画の視点からの取組が展開された。

### 【別紙：各主体による取組】

- 被災・応援自治体による取組事例：  
(子育て中の職員への支援を含む)災害対応業務に従事する職員へのサポート
- 男女共同参画センター・民間支援団体等による取組事例：  
全国の女性防災リーダーのネットワークを活用した支援

- 一方、これまでの災害と同様の困難(避難所における女性の負担増 等)や新たな課題(広域避難者に関する情報の把握や自治体間の共有、切れ目のない支援の必要性 等)も指摘された。
- 今後の災害対応で、男女共同参画の視点からの取組を促進するための提言(一部)は以下のとおり。

✓ 意思決定や災害の現場への女性の参画促進

✓ 平常時からの国や自治体のトップを含む関係者の意識の醸成、実践的な研修・訓練の実施

✓ 災害対応業務を担う職員等へのサポート体制の強化

✓ 女性防災リーダーへの支援・ネットワーク強化